

かみすながわ

議会だより

令和4年 第4回定例会

第23号

発 行 上砂川町議会 編 集 議会活性化特別委員会
上砂川町議会事務局 電話 0125-62-2880

上砂川町「ロボットシステムズ」にてバッテリー自動車の視察のようす



掲載内容

* 主な議会政務報告について	2 P
* 一般質問と答弁内容（要旨）について	3 P
* 議員の玄きコーナー	7 P
* 行政常任委員会報告について	8 P
* 町内行事への参加報告について	8 P

主な議会政務報告について

令和4年12月以降～

年月日	会議行事名	場所	出席者
R4 12	3 北海道議會議員うえむら真美激励会	産業活性化センター	議長
	7 議会運営委員会	役場	全委員・議長
	14～16 第4回上砂川町議会定例会	議事堂	全議員
	14 議会運営委員会	役場	全委員・議長
	15 行政常任委員会	役場	全委員・議長
	16 上砂川町財政研修会	役場	全議員
	29 仕事納めの式	役場	議長・副議長
R5 1	1 上砂川神社元旦祭	上砂川神社	議長
	5 仕事始めの式	役場	議長・副議長
	新年交礼会	町民センター	議長他5名
	7 上砂川町20歳のつどい	町民センター	議長
	8 上砂川消防出初式	上砂川支署	議長他4名
	14 炭鉱の記憶推進事業団前理事長吉岡宏高氏を偲ぶ会	岩見沢市	議長
	18 (株)ロボットシステムズ社視察	コンベンションホール	全議員
	ゼロカーボン推進セミナー	役場	全議員
	上砂川商工会議所議員新年会	上砂川岳温泉	議長
	20 第1回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員
	行政常任委員会	役場	全委員・議長
	26 砂川青年会議所新年交礼会	砂川市	議長
2	2 空知町村議會議長会令和5年第1回定期総会	沼田町	議長
	4 第11回雪ん子まつり in 上砂川	町内	議長他
	7 上砂川建設業協会懇談会	上砂川岳温泉	議長
	13 行政常任委員会	役場	全委員・議長
	24 空知中部広域連合議会第1回定期会	奈井江町	議長・小澤議員
	上砂川商工会議所創立70周年記念祝賀会	上砂川岳温泉	議長
	27 議会運営委員会	役場	全委員・議長
	石狩川流域下水道組合議会第1回定期会	滝川市	議長
28	第1回中空知広域町村圏組合議会定期会	滝川市	議長・副議長
	第1回中・北空知廃棄物処理広域連合議会定期会	滝川市	議長

一般質問（質問者順）

議席番号4番

小澤 一文議員



質問要旨

AEDケースに三角巾を配備することについて

AED使用時は、傷病者の右胸上部と左胸脇の2か所に電気ショックを与えるためのパッドを直接肌に貼り付けます。その際、傷病者が女性の場合に、胸がはだけてしまうことから、使用者をためらう人が多いことが課題となっていました。この対策として、三角巾をAEDケースに配備し活用されている自治体が増えています。

質問要旨

AEDケースに三角巾を配備することについて

AEDにつきましては、突然心臓が正常に拍動できなくなつた心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻す蘇生医療機器で、役場、町民センター、小中学校、こども園、町立診療所、温泉、ふらつと、そして各生活館6台、東山高齢者住宅を合わせ、公共施設に15台設置しております。

AEDをより多くの方が活用できるよう、AEDに対する知識や意識の向上を図るため、救命技能を習得するための普通救命講習会を役場全職員に受講させ、また維持向上を図るため、

本町においても、傷病者が女性であつてもAEDの使用をためらうことなく、救命活動を行うことができるよう、プライバシー保護の観点から、三角巾の配備を進めるとともに周知の対策をとるべきであると考えますが、見解をお伺いいたします。

答弁要旨

AEDにつきましては、突然心臓が正常に拍動できなくなつた心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正

常なリズムに戻す蘇生医療機器で、役場、町民センター、小中学校、こども園、町立診療所、温泉、ふらつと、そして各生活館6台、東山高齢者住宅を合わせ、公共施設に15台設置しております。

男女差が生じており、その原因として2枚のパッドを素肌に直接貼るため、女性に対しての抵抗感から使用率が男性より低いとの報告がなされました。

心停止は1分1秒を争う緊急事態ですので、命を救うことを第一に考え、性別に関係なく、躊躇せずに利用することが重要と考えます。

その対策の一つとして、胸を覆うため「三角巾」をAEDのケースに配備し活用しては、とのご質問ですが、本町で設置しているAEDは、服を全て脱がさなくとも、下着をずらしてパッドを張り、その後、服などをかけて肌を隠すことが可能なタブイドがあります、「三角巾」

3年ごとに再受講しており、学校や生活館に設置しておりますので、教職員や各町自治会役員の皆様にも受講してもらい、万が一の場合に備えています。

議員ご指摘のとおり、AEDを取り巻く新たな問題として、令和元年5月に京都大学の研究チームが、心停止時にAEDの使用率を調査した結果、大きな男女差が生じており、その原因として2枚のパッドを素肌に直接貼るため、女性に対しての抵抗感から使用率が男性より低いとの報告がなされました。

今後においても、消防と連携し、機器の管理・救命技能の維持向上に努めますことを申し上げまして、答弁といたします。

質問要旨

女性活躍とデジタル人材育成について

今や、人口減少が著しい地方にとつて、「女性活躍の推進は、地方創生には必要不可欠」と言われています。この視点に着目し、その対策に乗り出している自治体は少なくありません。女性がデジタルのスキルを習得できる後押しをする新たな取り組みを進めるべきですが、見解をお伺いいたします。

AEDをより多くの方が活用できるよう、AEDに対する知識や意識の向上を図るため、救命技能を習得するための普通救命講習会を役場全職員に受講させ、また維持向上を図るため、

答弁要旨

国においては、女性の就労環境の改善と社会進出を目的に、昭和60年に男女雇用機会均等法、平成27年に女性活躍推進法が成立し、女性が社会で活躍する機会に大きな変化がもたらされました。

本町では、昭和60年に「上砂川町女性の自立プラン推進協議会」を立ち上げ、平成13年には「上砂川町男女共同参画推進協議会」へ発展的に改組し、女性の地位向上と社会参加を目的にセミナーの開催やフォーラム等への参加など学習活動や地域活動を推進してまいりました。

しかしながら、役員の高齢化や会員数の減少により活動が停滞し、平成27年5月をもってやむなく組織を解散したところであります。

議員が述べられています様々な取り組みを進めるにあたつては、組織づくりが必要であると認識いたしますが、都市部とは違い役員の担い手や構成員を確保することは容易ではなく、こ

れから活躍を期待する若い世代を如何に取り込みながら進めるかが課題でありますことから、まずは各団体等への女性の登用を積極的に促し、自らが活躍する気運の醸成と土壤づくりに努めてまいります。

また、デジタル人材育成につきましては、デジタル田園都市国家構想実現会議においてその基本方針が示され、特に女性を念頭において「女性デジタル人材育成プラン」が構築されるとともに、デジタル実装を通じて誰もが便利で快適に暮らせる社会づくりを目指し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の策定が進められているところであります。

社会全体のデジタル化が加速する中、地方自治体においても新たな地域像を再構築するために地方版総合戦略の抜本的な改訂が求められており、本町においてデジタル弱者支援の一環として開催しているスマートフォン講座の他、公共施設のWi-Fi環境整備事業などを足掛かりに、議員ご質問の女性のデジ

タル分野におけるスキル向上につきましても住民ニーズを把握することにより、地域において必要とされている支援策を思案し、改訂となる地方版総合戦略に反映させたいと考えております。

いずれにいたしましても、人口減少、少子高齢化の問題に直面している本町にとつては、労働力の確保という観点からも女性の活躍が期待されていることに変わりはなく、地域経済の発展のみならず、まちづくり、自治会、子育て等の地域課題においても様々な視点から多様な人材の確保が重要となります。

特に子育て世代を中心とした若年層に重点を置く移住定住施策にも繋がるよう町内関係団体や住民との連携・協働の推進を図るとともに、国や道による支援策の活用を検討しながら地域の実情に応じた取り組みを進めてまいりますことを申し上げます。

そこで不法投棄を町が確認できましたら、広報やLINEで伝えて、再発防止を促すことをして頂けないでしょうか？これは、特にリアルタイムのLINEで伝える事によって町民が注

質問要旨

綺麗な町「上砂川町」を目指す不法投棄について



議席番号1番
石田 浩二議員

意して監視する事へ繋がると思
いますし、悪質な場合は画像付
きで配信が可能でしたら、効果
が高いと思います。

一部の町民は不法投棄を発見
しても、役場に電話なのか、警
察なのかわからないと聞くこと
がありますので、広報やLINE
で町民が不法投棄を発見しま
したら、通報電話先をわかるよ
うにしていくと、電話しやすくな
り、不法投棄の減少になつて
いくと考えられます。

それでは、町としてのお考
をお伺いいたします。

答弁要旨

ごみを適正に処理せず道路や
空き地等に捨てる不法投棄は悪
質な犯罪であり、5年以下の懲
役もしくは1000万円以下の罰
金が科されます。不法投棄を
発見した場合や目撃した場合は、
直接投棄者に話しかけず、投棄
日時や場所、車両ナンバー等の
情報提供を役場又は最寄りの警
察署に通報するようお願いして
おります。

本町の不法投棄防止対策とし
ましては、毎年6月の環境月間
に自動販売機の電光掲示板を利
用した啓発や町広報への不法投
棄防止の記事掲載などを行つて
おります。また、各町の自治会
や衛生協力会、老人クラブ、あ
るいは社会福祉協議会等ゴミ拾
い活動を行つてくださる団体や
議員のご質問にありましたよう
に、個人でゴミ拾いをしてくだ
さる方等から環境美化に協力い
ただいておりますが、残念なが
ら本年度は6件の通報があり、
それぞれ警察と現場を確認の上
不法投棄物の回収等を行つてお
ります。

議員ご質問の連絡先がわから
ない住民もいらっしゃるとの件
につきましては、連絡先は役場
でも警察でもよく、どちらに連
絡いただいても双方で連携し確
認作業等を行います。町広報に
は不法投棄を見かけた場合の連
絡先を掲載しておりますが、毎
月の掲載ではないため今後は定
期的な掲載やホームページへの
掲載も検討してまいります。た
だ、不法投棄を確認した場合に

LINEで伝えてはとのご指摘
につきましては、冒頭ご説明し
ましたとおり、そもそも犯罪行
為でありますので警察による捜
査も有り得るため、情報等の發
信はより慎重に取り扱う必要が
あると考えております。

今後も警察と連携し対応して
まいりますが、悪質な事例につ
きましては防犯カメラの増設も
検討してまいりますことを申し
上げ答弁とさせていただきます。



質問要旨

帯状疱疹の予防推進について



議員番号3番
笛木 笑子議員

日本成人の90%以上は、帶
状疱疹の原因となるウイルスが
体内に潜んでおり、発症者は加
齢に伴う免疫力の低下により、
50歳以上が7割を占め、80歳
以上の3人に1人は帶状疱疹を
経験しているといわれていま
す。帶状疱疹の病名の認知度は
高いが、誤った認識からリスク
やワクチンの認知度は低いと言
われています。発見が早ければ
早いほど治療効果が高く重症化
しにくいが、高齢者の罹患率が
高いため気づかずに治療が遅れ
るケースも少なくなく、早期治
療の重要性の認識が低い現状で
おります。

す。予防として、帯状疱疹ワクチンの接種が有効とのことです。

が、どこで、どのようなワクチンが接種できるのかの情報は少なく、有効といわれているワクチンも高価（本町医療機関で1回、7,150円）で、夫婦での接種は経済的負担が多く接種に至つていい現状であります。本町においても、誤った認識から帯状疱疹だと気づかず、治療が遅れるケースもあり、そこから、神經痛、フレイル（虚弱）へ移行、ひいては寝たきりになるリスクも考えられます。

高齢者が多い本町としては、何らかの対策が必要と考えます。「予防に勝る治療なし」とも言われるよう、「帯状疱疹の予防効果についての周知」「ワクチン接種費用の助成」が予防の後押しとなり、健康寿命の延伸にもつながると考えますが、見解をお伺いいたします。

答弁要旨

帯状疱疹は、水疱瘡と同じウイルスで起きた皮膚の病気です。子どもが頃感染した水疱瘡が治癒した後もウイルスが神経に潜伏し、免疫低下や加齢に伴い、ウイルスが再び活性化することによって発症します。

帯状疱疹の予防法については、日常生活ではバランスの良い食事、適度な運動、休息等免疫を低下させないことが大切です。また、帯状疱疹予防接種については厚生労働省ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチ

ン評価に関する小委員会で、定期接種化にむけた議論がされているところですが、現在は任意接種となっています。

帯状疱疹の予防推進についての対応は、第一に予防が大切です。そのため、高齢者の通いの場や、がん検診等の個別通知に合わせ、帯状疱疹の症状、治療、日常生活における予防、ワクチンの有効性等についてリーフレット等で住民周知を図ることから始め、ワクチン接種費用の助成につい

ては、道内でも助成を開始している町があることは承知しているが、新しいワクチンは副反応が強く出ると言われていることから、厚生労働省の定期接種化に向けた検討を注視し、近隣市町の助成等の動向を踏まえ検討し、フレイル予防、健康寿命の延伸については、各種健康診断、介護予防事業、住民主体のボーウオーキング等の支援を継続してまいります。

放課後児童支援員を配置しているとのことです。専門に配置された支援員ではなく、日々交代での配置ということで、大半の時間を直接子どもたちと関わるのは児童厚生員ですが、大切な人的環境であるにもかかわらず、研修などの機会は皆無とのことです。

質問要旨

児童館の放課後児童クラブ化について

令和2年9月の定例議会において、同テーマで一般質問した経緯があります。その折の教育委員会の回答は、「児童館において放課後児童クラブに準じた機能を持たせた運営をしている」旨の答弁でありました。しかし、保護者からの要望として、今も「児童クラブの設置」が出ているということは、機能として働く

れます。

保護者の認識は放課後クラブとして通わせているが、職員は厚生員も含めて児童館の認識での預かりであり、保護者側、児童館側との意識の共有がなされていないと推測されます。

放課後児童支援員を配置するが、新しいワクチンは副反応が強く出ると言われていることから、厚生労働省の定期接種化に向けた検討を注視し、近隣市町の助成等の動向を踏まえ検討し、フレイル予防、健康寿命の延伸については、各種健康診断、介護予防事業、住民主体のボーウオーキング等の支援を継続してまいります。

放課後児童支援員を配置しているとのことです。専門に配置された支援員ではなく、日々交代での配置ということで、大半の時間を直接子どもたちと関わるのは児童厚生員ですが、大切な人的環境であるにもかかわらず、研修などの機会は皆無とのことです。

保護者が安心して預けられ、子どもにとつても放課後を安全に、健やかに過ごす居場所としての機能を得るには、保護者、厚生員、支援員の運営に関する方針などの共有、専門支援員の配置、厚生員の研修の機会の確保が有効と考えますが考え方を伺いたい。

※『ひとつこと』

児童館・健全な遊びを与え、遊びによって心身の健康を増進し、知的・社会的能力を高め、情

緒を豊かにするように指導員
(児童厚生員)が援助する児童
厚生施設を言う。

放課後児童クラブ・・・学童とも呼ばれ、保護者が就労などで昼間家庭にいない小学生を対象とした放課後の遊びと生活の場であり、家庭の代替機能としての場所である。地域子ども・子育て支援事業の一つでもある。放課後児童支援員が指導計画に沿つて育成するとされている。出欠管理も伴う。このように、設置された放課後児童支援員が就労などを対象とした放課後の遊びと生活の場であり、家庭の代替機能としての場所である。地域子ども・子育て支援事業の一つでもある。放

受け、こども園職員及び児童厚生員の内部研修を行うなど、児童館での子どもの育成支援や必要な知識及び技能習得、安全対策も強化しており今後も研修機会を提供したいと考えています。

放課後児童支援員の常駐配置については、こども園の土曜日開園に伴い、専属職員による配置にはなっていない現状で運営されています。

保育教諭及び児童厚生員、子育て支援係職員での打ち合わせ会議では、これまでの振り返りや、次年度の運営に向け協議しております、次年度では「遊びに来る子ども」なのか「預かりの必要な子ども」なのか利用目的の確認や、児童館に何を求めているのか保護者・児童へのアンケート調査実施も検討しています。

『ありがとうございます！がんばれよー！』
この3月で、見送つて3年になる父との最後の会話だ。

2年前の町議会選挙の結果を、コロナ禍で面会できない中、入院先の病院へ報告に向かった。当選させてもらえたことの伝言を看護師さんに頼つたところ、

本当の親離れができたと思った。しかし、鬼籍に入つてまでも、元来、怠け者の娘が心配なのか、「がんばれよー！」の声が度々聞こえてくる。

議員の呟きコーナー(^.^)/~~~

「声はすれども

姿は見えず・・・」

笹木 瑞子

『ありがとうございます！がんばれよー！』
この3月で、見送つて3年になる父との最後の会話だ。

2年前の町議会選挙の結果を、コロナ禍で面会できない中、入院先の病院へ報告に向かった。当選させてもらえたことの伝言を看護師さんに頼つたところ、

1瞬、困惑されながらも待つようのこと。暫くすると、何と・・半年ぶりに聞く父の声だった。面会は叶わないが、声だけでも・・との看護師さん

の心遣いであった。声の聞こえるところまでベッドごと移動してくれたようだ。そして、翌月に9歳で見送った。

冒頭の最後の会話があつたの課とも協議をしながら設置に向けて検討してまいります。

放課後児童クラブについて、平成30年度から、保育教諭が放課後児童支援員の資格研修を受講し、現在4名の資格認定を

答弁要旨

本町の児童館は、認定こども園等複合施設に併設し、専用の図書室・創作活動室・遊戯室を配置することで、勉強や読書・運動など放課後や長期休暇の子どもたちの居場所や遊び場を提供しており、職員体制は、児童厚生員と保育教諭合わせて2名を配置し運営しています。

平成30年度から、保育教諭が放課後児童支援員の資格研修を受講し、現在4名の資格認定を

「徹底した食事方法で

大健康
石田 浩一

毎年する健康診断ですが、30代の時から(現在は50歳)血中コレステロールの数値が高くて悩んでいました。母方の家系はほぼ同じく数値が高いので遺伝だと思います。仕方ないと諦め言い聞かせていましたが、6歳上の兄が「いやあー糖尿病の予備軍といわれてさあ」と何

気ない会話で聞いた事で「このままだと自分も同じになるな」と確信しました。

それからは医者に相談し、栄養士に食事の方法（どの食材を1日どれぐらいや、どの食材や飲み物は摂取してはダメ等）を聞いて実践しましたが、全く効果が得られませんでした。僕は医者の指示でもダメなんだから遺伝には勝てないんだ」と諦めて「薬を処方して頂けませんか？」と医師に伝えたところ、「もう一度栄養士の指示通りにしてみましょう」と言われ、努力しても無理なんだから、今更食事制限をしても数値は変わらないでしよう」と心の中でつぶやき1年指示通りの食事や運動をしましたが、案の定、数値は前年と同じではなく、また高くなりました。また医師からは「栄養士さんの言う通りにしていましたか？」でした。もうこのやり取りに限界を感じていまので、薬を処方して欲しいとお願いしましたが「もう半年頑張りましょう」の言葉に努力しても叶わないなら、本やネック

トで調べて自力でなんとかしようと思考を変えました。何冊もネットで本を注文して全部読みしていくましたら、一人の医師が書いた本が実例も交えての解説があり、動画も配信していたので、その方法を実践しましたら3ヶ月で基準値を下回り、見事血中コレステロールの数値を健康の数字にできましたし、糖尿病予備軍の数値にはほど遠く（全く気にすることのない数値）健康状態を確保することができました♪ネタばらしですが「米類」を食べない食事で数値の減少を見事達成できました。それから炭水化物の制限を行っています。町の方（健康診断後のお話をしてくださいの方）には「ちょっとストイックですね♪」と言われましたが、数値が示しているのが正しい方法だと僕は思っています。50歳にもなると健康には気をつけなくてはいけないと感じる年齢だと思いますが、これからも体調管理には凄く気をつけていきますと宣言いたします♪

行政常任員会報告

1月20日に委員会を開催

①上砂川町議会会議システム用タブレット端末機運用基準について

②タブレット端末機の持ち出し等について

③道外研修視察について

昨年10月中旬の実施が延期となり、本年5月頃の実施時期や、徳島県上勝町のSDGs等の取り組みについて、その他の目的地も併せて研修内容について協議しました。

2月13日に委員会を開催
①道外研修視察の日程について



町内行事への参加報告

令和5年新年交礼会

上砂川町・商工会議所・地区連合会主催の「新年交礼会」が5日に行われた。参加者を一団体1人に制限し、感染予防対策を講じての開催であったが、各団体の代表者ら53人が新年のあいさつを交わした。町長、議長が昨年を振りかえりつつ、干支の兎にちなみ飛躍の年になるようとに今後の思いを述べた。商工会議所会頭（副議長）のユーモアあふれる祝杯が功を奏し、和やかな雰囲気で新年の門出を祝い、懇親を深めた。最後は地区連合会長の乾杯で締めくづった。

（記 笹木 瑞子）

出席者（8名）

高橋成和・吉川洋
伊藤充章・小澤一文
越前等・笹木瑞子
藏根高史・石田浩二

令和5年1月8日、恒例の消防出初式が開催されました。今年も来賓としてではなく消防団員として参加してまいりましたが、私も消防団員を拝命させて頂いてから今年でまる19年になります。また幹部団員と成つてから10年となりました。その間、何度も火災・水災に出動しましたし、防災に尽力すると共に町の皆様の生命と財産を守る使命を担う一員として訓練して來た事を改めて思い返したところでございます。



令和5年新春消防出初式



出席者（7名）

高橋成和・吉川洋
伊藤充章・小澤一文
越前等・笛木笑子
藏根高史

（記）伊藤充章

本年も来賓としてではなく消防団員として参加してまいりました。新たな一年の始まりに気持ちを一新するとともに、一団員として身を再度引き締め、上砂川町の無火災・無災害を祈念していました。

本年の出初式はコロナ過の状況でもあり内容を簡素化し、登梯披露・木遣り行進は残念ながら行われませんでしたが、気温は非常に低かったのですが幸いにも晴天に恵まれた中、一糸乱れぬ分列行進・観閲が行われ、新たな一年の始まりに気持ちを一新するとともに、一団員として身を再度引き締め、上砂川町の無火災・無災害を祈念していました。

ロボットシステムズのバッテリー自動車の視察

株式会社ロボットシステムズには、今回2回目の視察となり、今回は電気自動車の改造・販売、物づくりコンサルティングなどに取り組む会社「WILL-E」（本社：札幌市）根本英希社長が昨年から町内の無重力プラザで、寒冷地仕様のコンパクト電気自動車の研究、開発に取り組んでいる。脱炭素社会を目指す技術開発を目指している根本社長から説明を受けました。ロボットシステムズとの技術とも連携し、EVとロボットを組み合わせることで、次世代の技術に変化できればと今後の展望について説明を受けました。

（記）越前等

出席者（8名）
高橋成和・吉川
伊藤充章・小澤一文
越前等・笛木笑子
藏根高史・石田浩二

令和5年第1回上砂川町議会定例会を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

※日程は変更となることがあります。

○議会日程：3月8日（水）～16日（木）

○傍聴可能日：3月8日（水）・9日（木）

13日（月）・16日（木）

3月速いもので桃の節句の季節となりました。

この冬は、12月にいきなりの大雪から始まり、今年に入つてからも寒さが一段と厳しく、雪も全国的に多い冬でしたが、もう少しの辛抱です。この北国にも、もうそこまで春の足音が聞こえました。

この春は、4年に一度の統一地方選挙の年になります。当町は選挙の時期が町長、議員選挙共に違う年ですから、そんなに賑やかにはなりませんが、関係のある地城市町村は忙しい春となつている事と思います。

どのような結果にしても、社会全体が安全で安心して生活できることになるように力を發揮してほしいものと、特にこの1年は世界的に大きな紛争が起ります。心より思います。そして我々議会としても、今一度真剣に考える日々を送っています。

ここ数年のコロナ禍、またこの1年は物価高騰等により、大変厳しい環境の中での生活を強

いられてきました。

そんな中、昨年は3年ぶりに仮装盆踊り、花火大会が再開し多くの町民の皆様が楽しんで頂けたことと思います。また、2月には「雪ん子祭り」も開催されました。今年は町内の高齢者の方々手作りの紙ランタンの点灯等があり、何時より一層、町民参加型のイベントとなりました。

これからも色々な行事、事業に少しでも町民の皆様が参加でき、一緒に作り上げるものが多くなる事を思いつつ、4月からの新年度に希望を繋ぎ、この編集作業をしています。

(記) 吉川 洋

議会広報誌の編集委員

・吉川 洋・伊藤 充章
・越前 等・小澤 一文
・笹木 笑子・藏根 高史
・石田 浩二

【お詫びと訂正】

議会だより第22号につきまして、掲載内容に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

・1ページ

(誤)令和4年12月1日発行

(正)令和5年1月1日発行

*議員のつぶやきコーナーについて

(誤)6P ↓ (正)7P

*提案された意見書について

(誤)7P ↓ (正)8P

*行政常任委員会報告について

(誤)7P ↓ (正)8P

・8ページ (誤)

意見書案第2号

森林・林業・木材産業によるグ

リーン成長に向けた施策の充

実・強化を求める意見書

提出議員 吉川 小澤 一文 洋

賛成議員 笹木 笑子

意見書案第3号

2022年度北海道最低賃金改

正等に関する意見書

提出議員 藏根 高史

賛成議員 越前 等

石田 浩二

・8ページ (正)

意見書案第4号

地方財政の充実・強化に関する意見書

提出議員 藏根 高史

賛成議員 越前 浩二 等
意見書案第5号
国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書
提出議員 吉川 洋
賛成議員 伊藤 充章
小澤 一文
石田 浩二
意見書案第5号
国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書
提出議員 吉川 洋
賛成議員 伊藤 充章
小澤 一文
石田 浩二

雪ん子まつりin上砂川

